

令和6年7月1日
国土交通省関東地方整備局
東京国道事務所

渋谷駅西口地下歩道が開通し、歩行者動線が変わります ～南北の移動が地下歩道でも可能となり、快適な歩行者空間が創出されます～

国道246号渋谷駅周辺整備事業では、歩行者ネットワークの形成や快適な歩行空間の創出などを目的として事業を進めております。

このたび西口地下歩道が、令和6年7月21日（日）午前5時から通行いただけるようになりますので、お知らせします。

新たな地下歩道の開通により、安全・快適な動線を確保するとともに快適な歩行者空間が創出され、渋谷駅西口において、南北の移動が天候に左右されず可能になります。

また同日より西口地下歩道周辺の歩道やデッキに上がる階段が通行止めになる等、歩行者動線が変わります。

<発表記者クラブ>

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、都庁記者クラブ

<問い合わせ先>

関東地方整備局 東京国道事務所

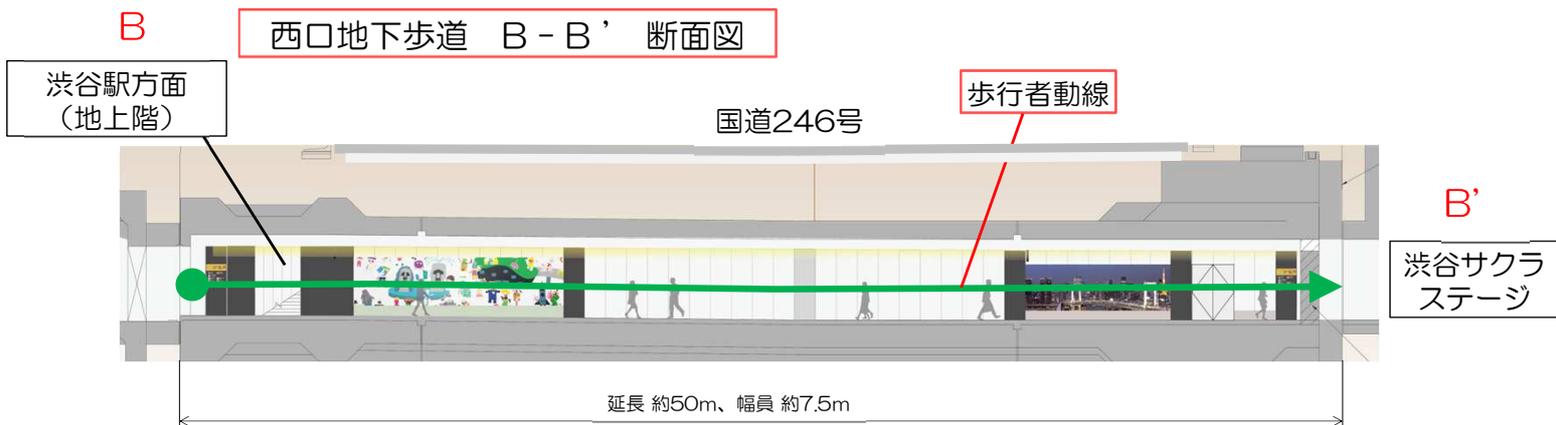
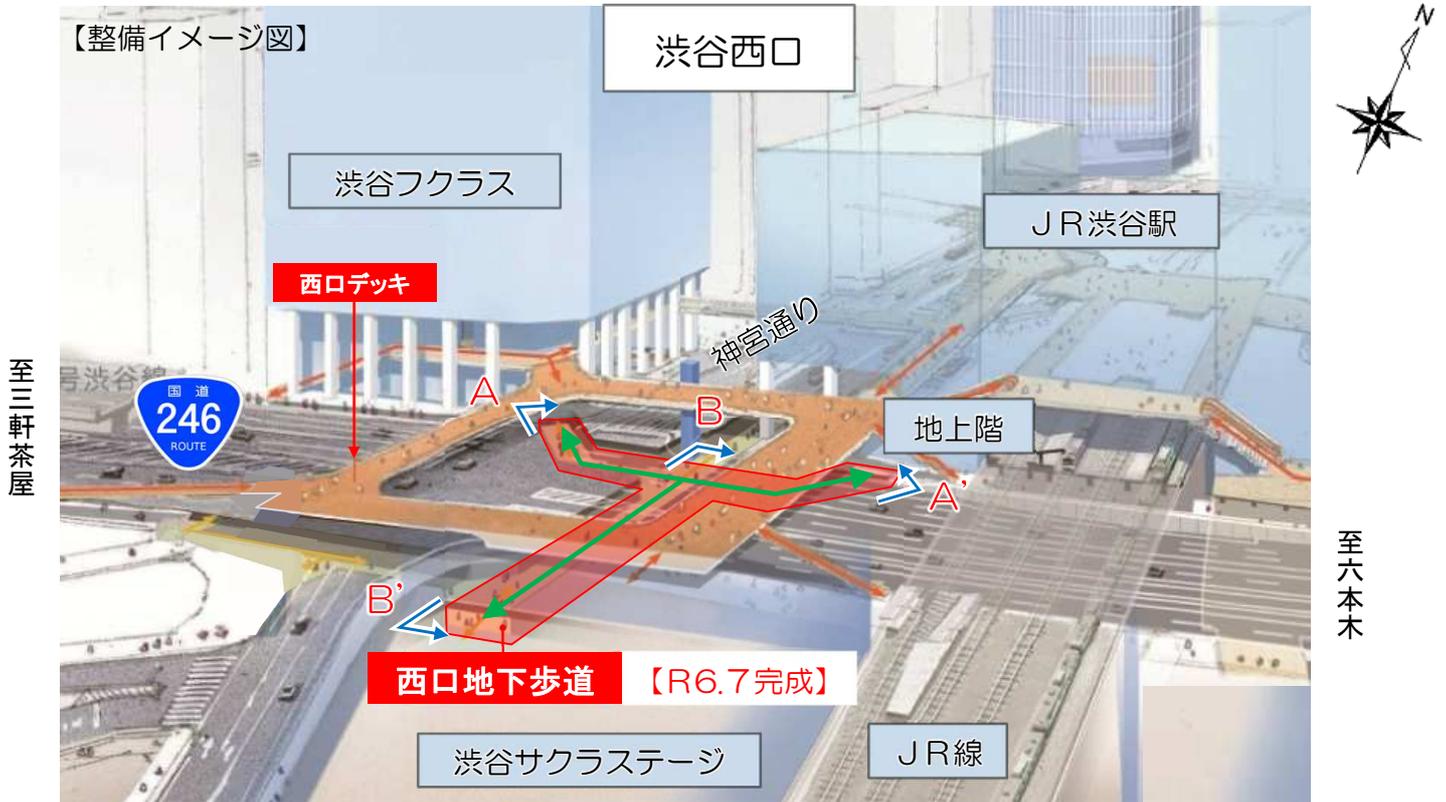
電話：03-3512-9090（代表） メールアドレス：ktr-toukoku-press@mlit.go.jp

副所長 荒井 昭人（あらい あきひと）（内線：205）

工務第一課 課長 豊村 秀樹（とよむら ひでき）（内線：411）

国道246号 渋谷駅西口地下歩道工事

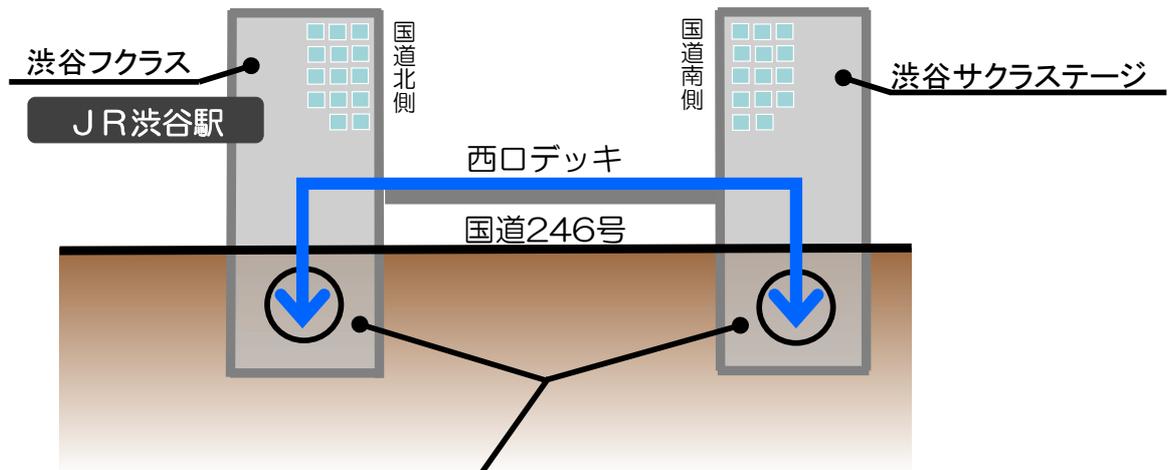
西口デッキだけでなく西口地下歩道でも南北の移動が可能となり、国道246号横断における負担が大幅に軽減され、安全・快適な動線を確保するとともに、快適な歩行者空間が創出されます。



国道246号 渋谷駅西口地下歩道工事

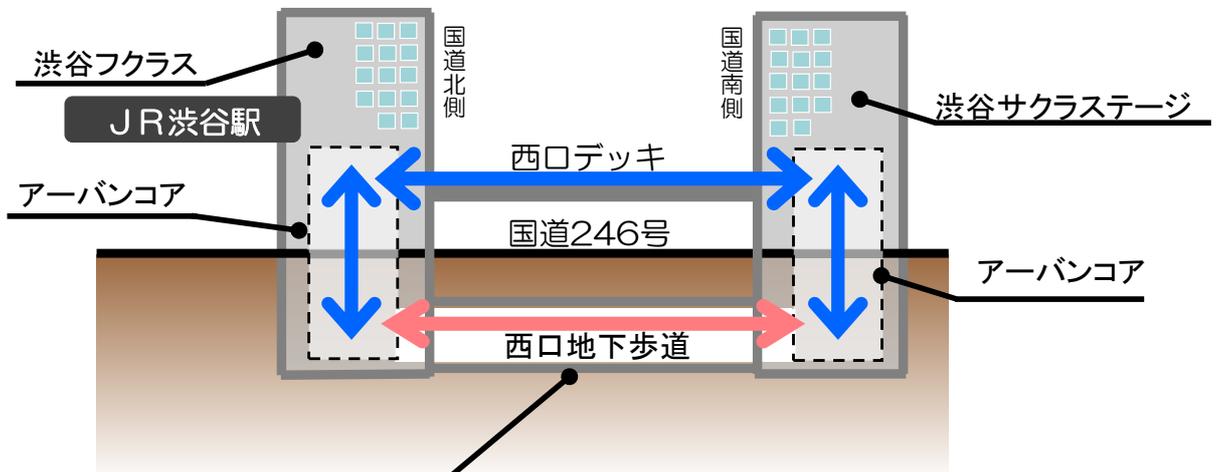
西口地下歩道の開通で民間ビルと直結することにより、すり鉢状の地形である渋谷の縦移動が便利となる縦軸移動「アーバンコア」について、地下歩道と連携することでより快適な移動が可能となり、西口地下歩道と西口デッキでの各レベルによる歩行者ネットワーク構築や回遊性向上が図れます。

現況



地下から地下へのアクセス時に
上下移動が発生

整備後

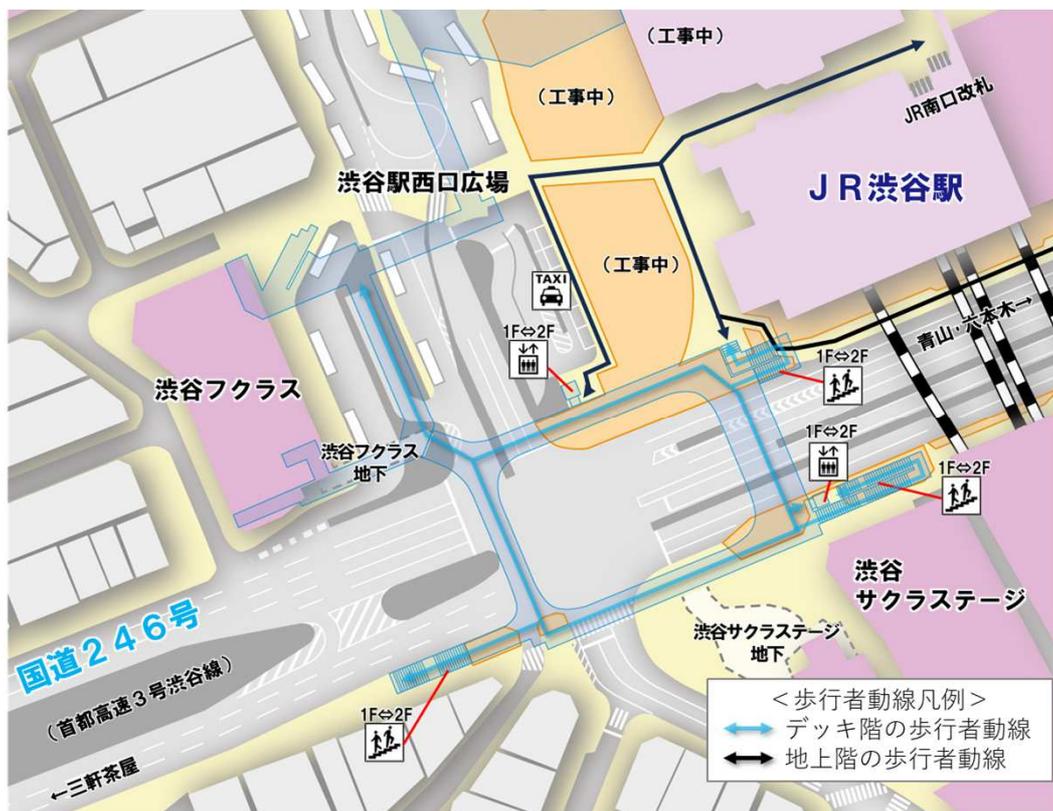


地下横断が可能となり、
上下移動が軽減

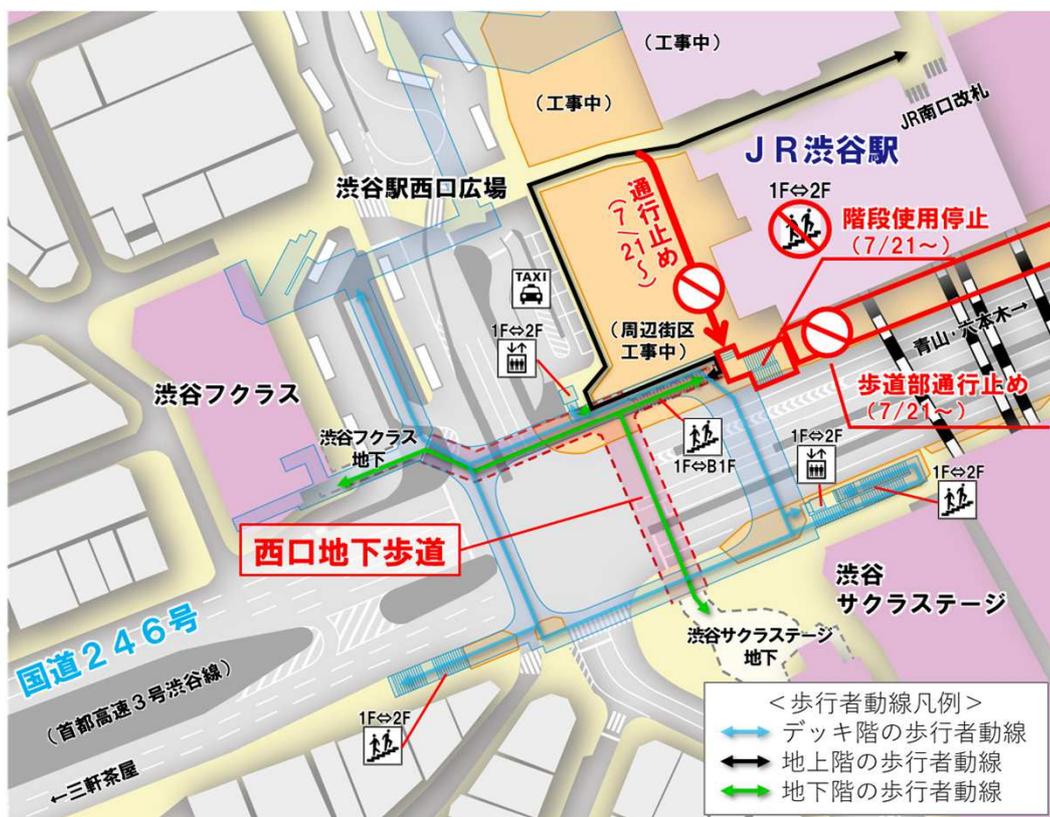
歩行者動線のお知らせ

今回の西口地下歩道の開通と同時に、周辺街区整備により現在の歩行者動線が一定期間通行止めになります。

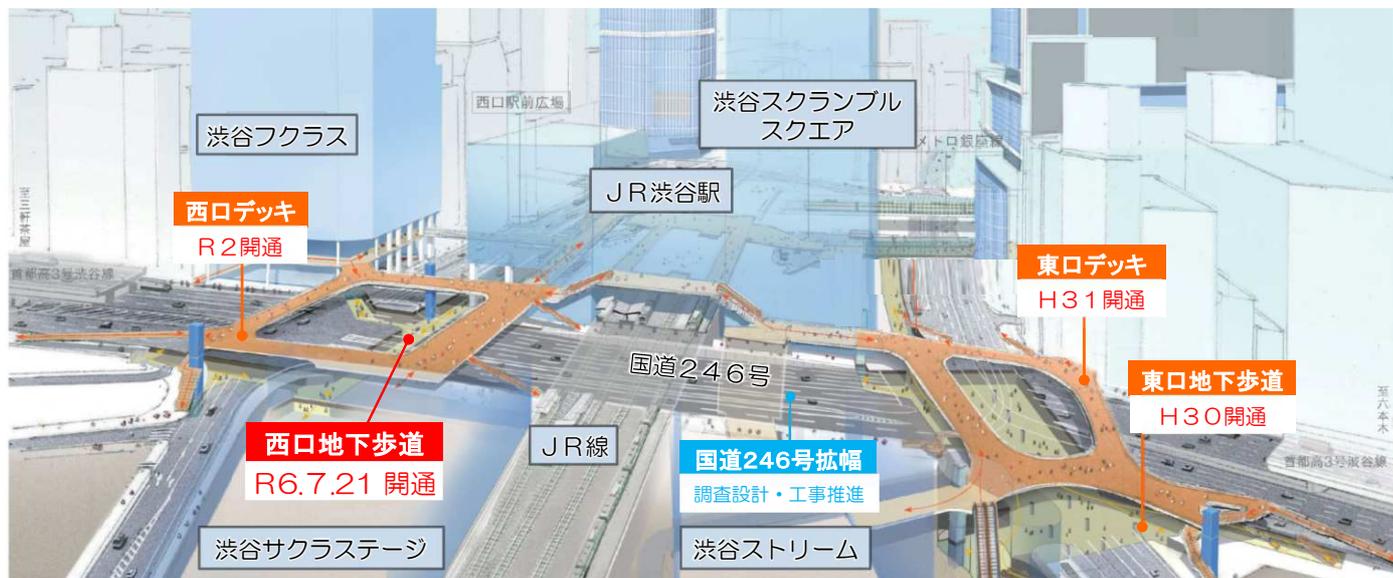
西口地下歩道開通前



西口地下歩道開通後



国道246号渋谷駅周辺整備事業の状況



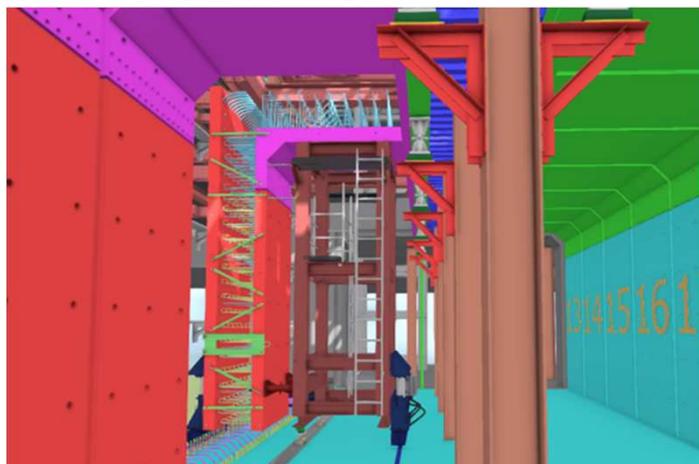
- 平成30年8月 東口地下歩道の開通
- 平成31年3月 東口デッキ（歩道橋）の開通
- 令和 2年7月 西口デッキ（歩道橋）の開通
- 令和 6年7月 西口地下歩道の開通

3次元モデル活用等による施工の効率化

西口地下歩道の施工場所は首都高速道路やデッキなどの既設構造物が近接する狭隘な空間での作業のほか、交通量の多い国道上において夜間の車線規制時間内に効率的な作業を行う必要があった。建設現場の生産性向上や夜間交通規制日数の縮減を目的とした大型構造物へのプレキャスト工法の適用とともに、3次元モデルを活用して可視化し、施工時の安全性の確認や施工計画シミュレーション・VR技術等を用いて機材の配置、材料の投入位置や据付方法等の確認を行うことで施工計画の最適化を図り工事を進めました。



VRによる事前シミュレーション



3次元モデルによる検討